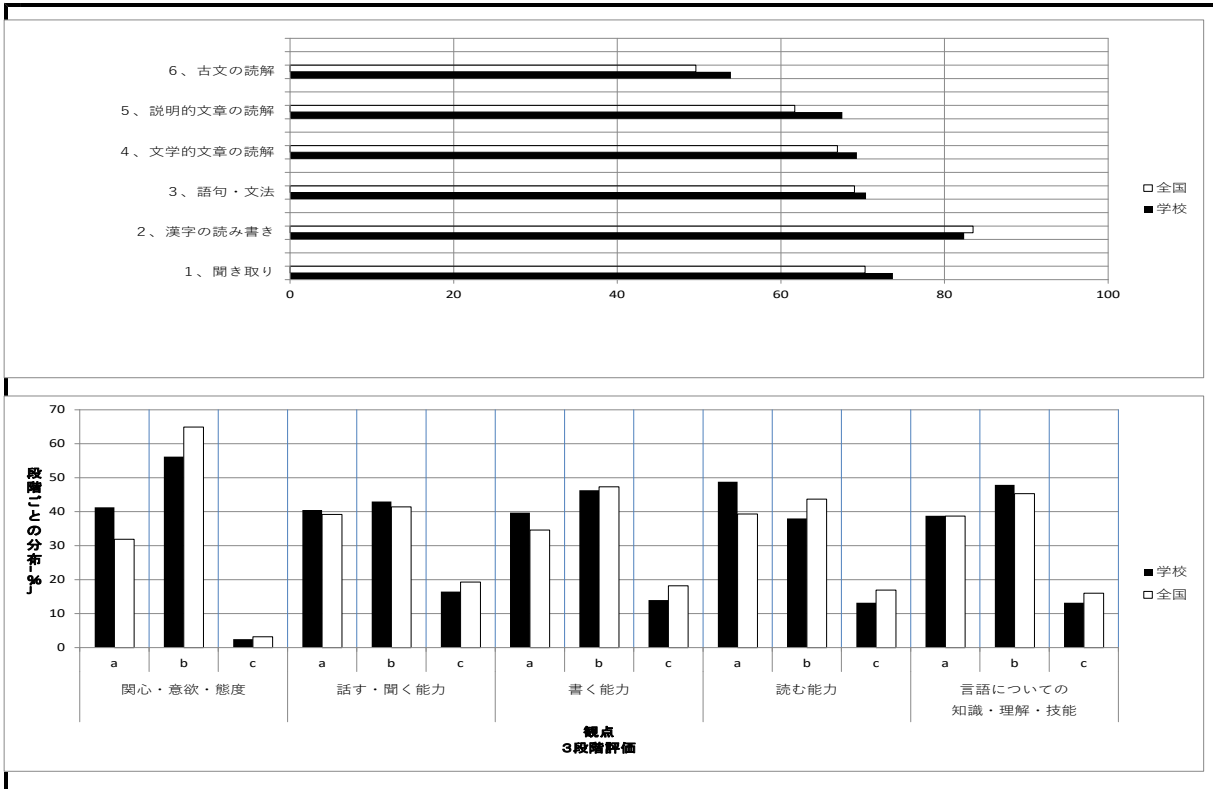


国語科(第一学年)授業改善推進プラン(様式2)

1. 内容別・観点別の分析表(定期考査・学力調査・学力診断テスト等の分析)

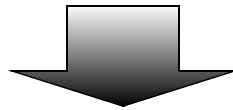


【領域別】

- ほぼすべての項目で全国平均を上回っている。
- 漢字の読み書きの項目だけは全国平均を下回っている。

【観点別】

- すべての項目でAが全国平均を上回っており、特に関心・意欲・態度の項目と読む能力は



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・定期考査等を含む学力調査の結果分析(学力診断テストを含む)
- ・学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ・努力を要するところなど

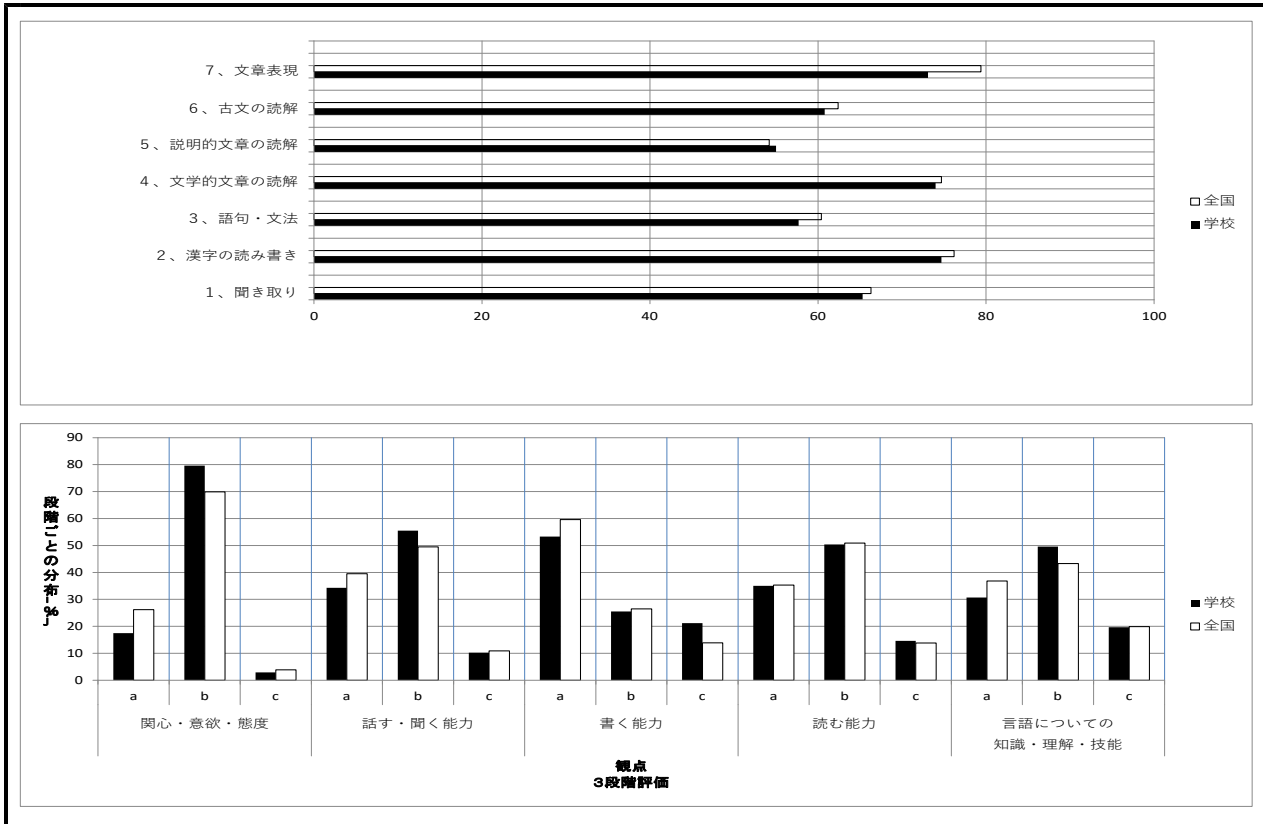
○授業に対しては全体的に落ち着いて取り組んでおり、発言についても非常に意欲的である。どのクラスも数名ずつ板書を写そうとしない生徒、忘れ物の多い生徒、提出物を提出しない生徒が見られるのが課題である。

○文章の内容を読み取ることができる。特に文学的文章では、登場人物の立場に立って心情を想像することもできている。ただし、記述問題では、出題意図を理解できていないような解答やふさわしい形で解答できない生徒もいる。

○授業内で理解することが出来ても、板書をすべて写していない、復習をしない等の原因で、内容が定着しない生徒がいる。家庭での復習を定着させる必要がある。

国語科（第二学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）

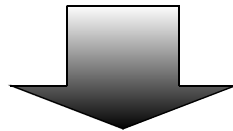


【領域別】

○説明的文章の読解以外の項目で全国平均を下回っている。

【観点別】

○どの項目も A と C の割合が全国平均よりも低く、B が多い結果となった。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

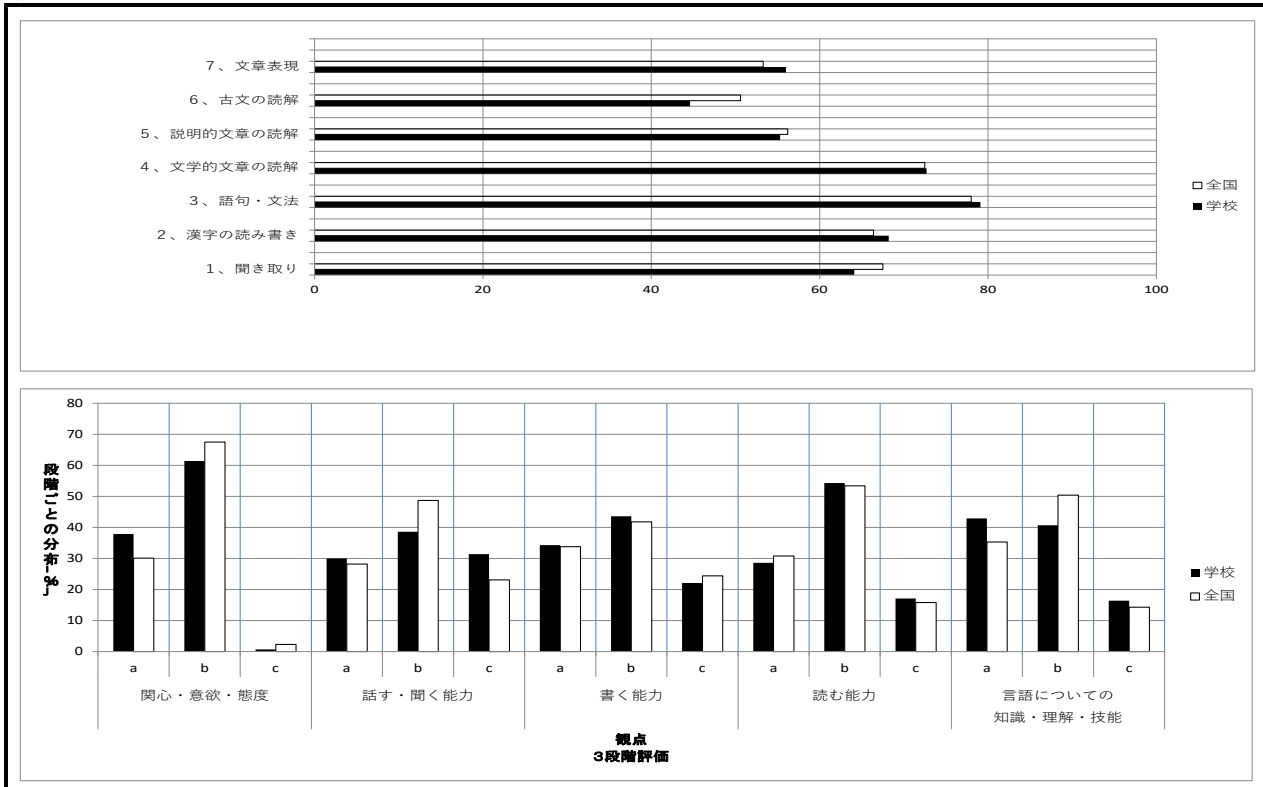
- ・定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

- ・授業には落ち着いて取り組んでいるが、発言が少なく受け身の姿勢となっている生徒が多い。
- ・領域別の結果は、ほとんどすべての項目で全国平均を下回っているが、観点別で見ると B が多いことから、極端に国語を苦手とする生徒が多いわけではない。普段の授業で基礎的な学力の定着を図る必要があるため、既習事項の復習を大切に、身につけさせる。
- ・「読む能力」については朝読書や課題読書等にも取り組んでいるので、説明的文章の読解と同様に学力を伸ばしていきたい。一部課題図書を読まない生徒もいるので等を通して読ませるようにしていく。
- ・家庭学習の習慣をつけさせ、授業でやったことが長く記憶に残るように指導していく。

国語科（第三学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）

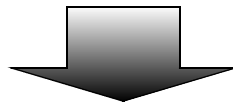


【領域別】

○「漢字」「語句・文法」「文学」「文章表現」は全国平均を上回っている。しかし、「聞き取り」「説明文」「古典」の項目は全国の平均を下回っている。

【観点別】

○ほぼ全ての観点でAが全国平均を上回り、B・Cは低い傾向にある。しかし、「読む」の項目だけはAの項目が低くなっている。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

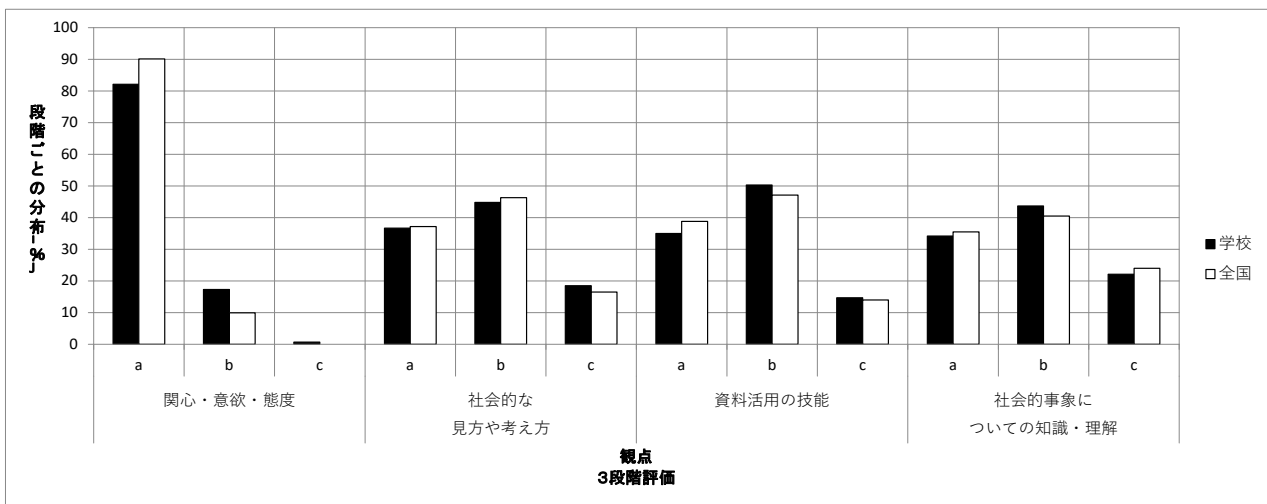
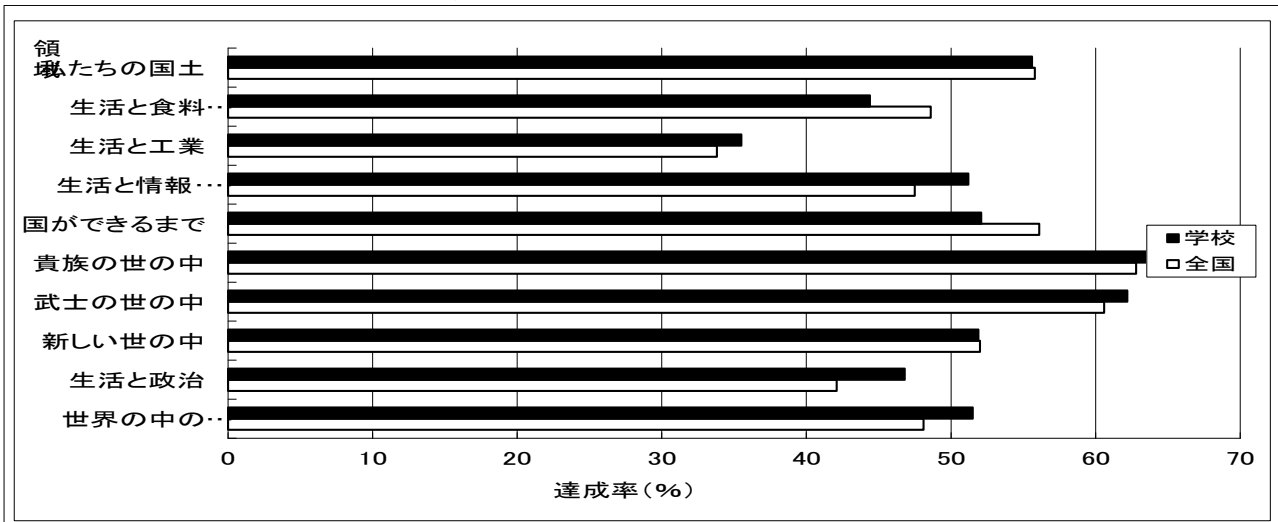
- ・定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

- ・授業には落ち着いて取り組んでいるが、女子に発言等に消極的な生徒が目立つ。自分の考えを言葉にして発表することに抵抗感がある生徒が多いので話し合いをしてから発言を促すようにするとよい。
- ・「聞き取り」は要点把握とメモの取り方を訓練する必要がある。
- ・課題図書取り組みにより文学的文章はできているが、説明的文章は今後いろいろな文章に親しませるようにする。古典は音読中心に授業していたので問題練習も取り入れるようにする。
- ・「漢字」「語句・文法」については標準的な力はついてきているが、「語彙力」は不足している。今後ともこまめに辞書を引き、よく使われる語句に関しては意味を理解したあと、必ず使いこなせるように、演習を重ねていく。

社会科（第一学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）

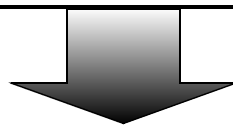


● 内容別分析

10領域中8領域で全国平均達成率を上回るか同程度、基礎学力はある。

● 観点別分析

全国平均と比べて全ての観点でa評価については全国平均を上回っている。



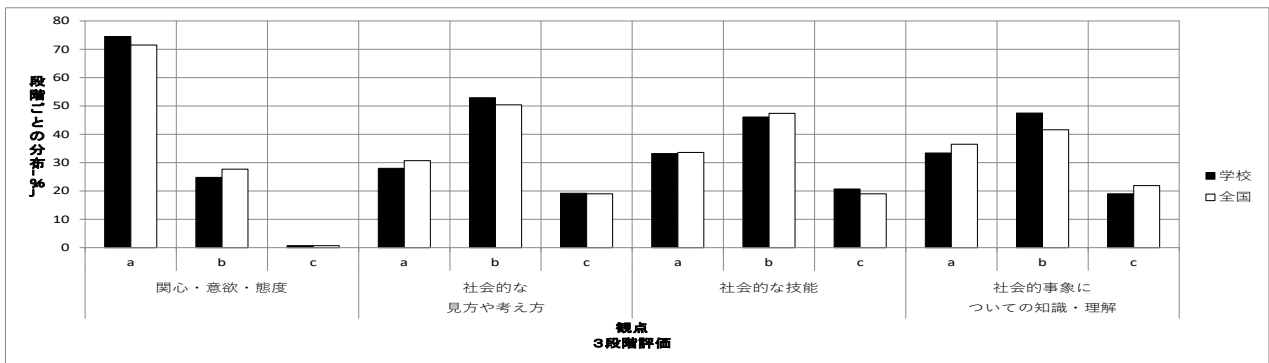
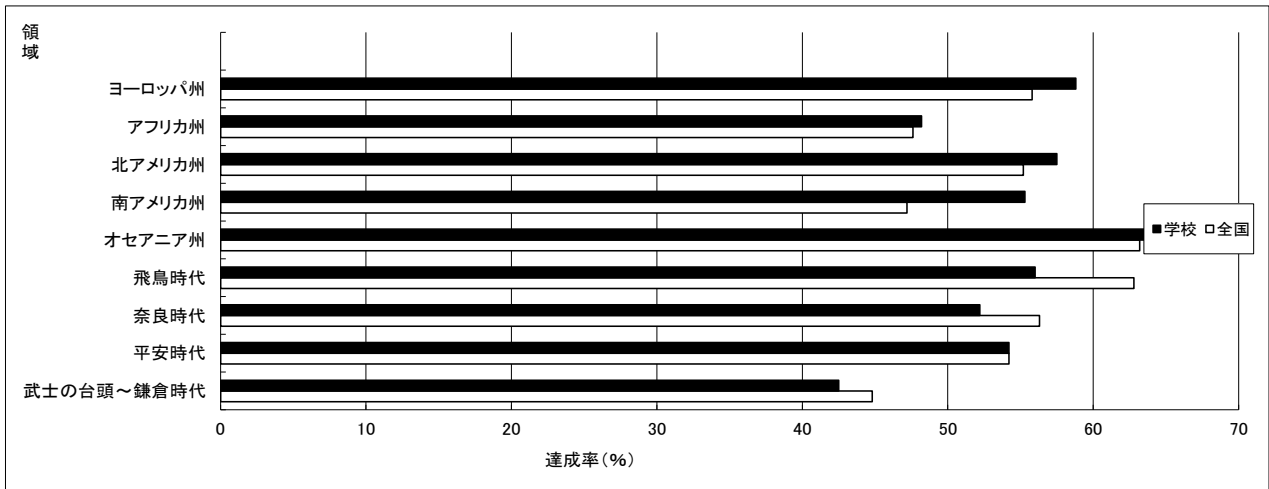
2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

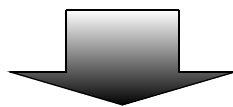
- 十分に満足できるところ
 - ・ 十分に満足できるところ
 - ・ 地理・歴史に関する興味関心が高く、発言意欲もある。
- 努力を要するところ
 - ・ 「社会的な事象についての知識・理解」について、伸ばしていく工夫が必要である。
 - ・ また、繰り返し学習することが必要である。

社会科（第二学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



- 内容別分析
地理はすべてで、達成率が全国平均を上回っている。歴史は、3領域で全国平均を下回っている。
- 観点別分析
全国の分布と比較すると、全ての観点で a 評価は上回っている。c 評価は知識・理解で上回っている。



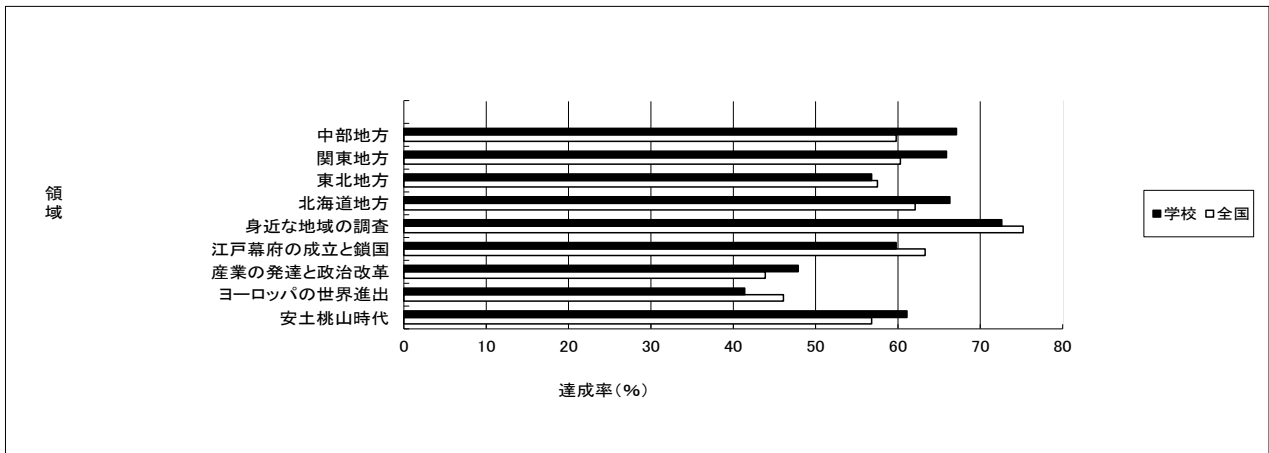
2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

- 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど
- ・ 十分に満足できるところ
地理は、全て国平均を上回っている。多くの生徒は授業態度も良く意欲的である。
 - ・ 努力を要するところ
全体的には社会的な思考・判断・態度と知識・理解の底上げが必要である。特に歴史では基礎学力不足の生徒も多く、家庭学習も含めて、繰り返して学習することが必要である。

社会科（第三学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）

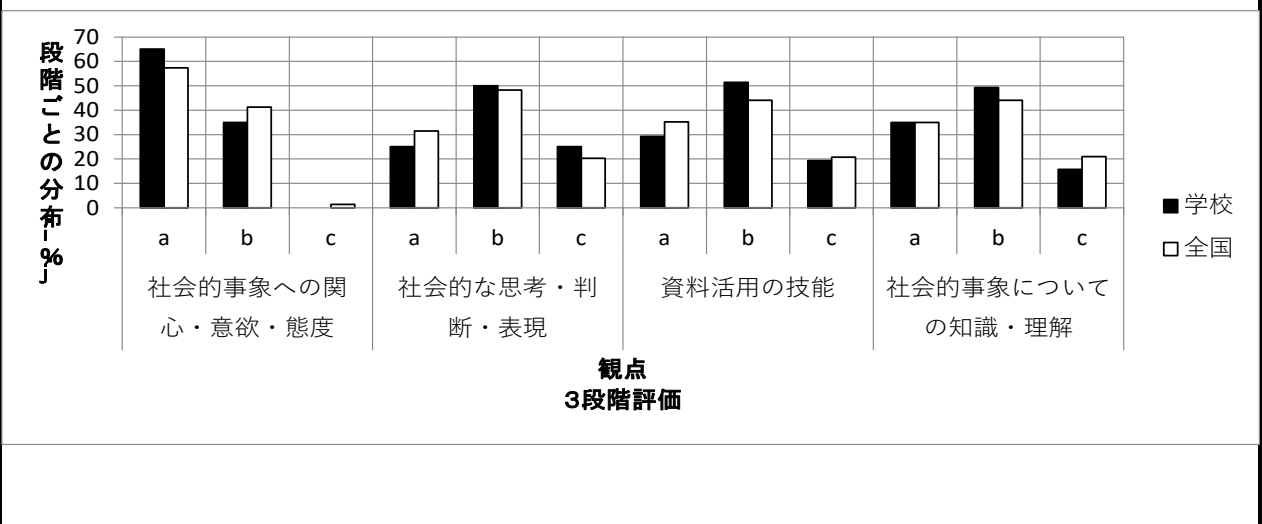


● 内容別分析

全体的にみると、歴史的分野よりも地理的分野の方が、全国平均を上回っている。

● 観点別分析

全国の分布と比較すると、社会的な思考・判断・表現と資料活用の技能の a 評価がか下回っているが、c 評価を見ると下回っているのは資料活用の技能だけである。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析
- ・ 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

<十分に満足できるところ>

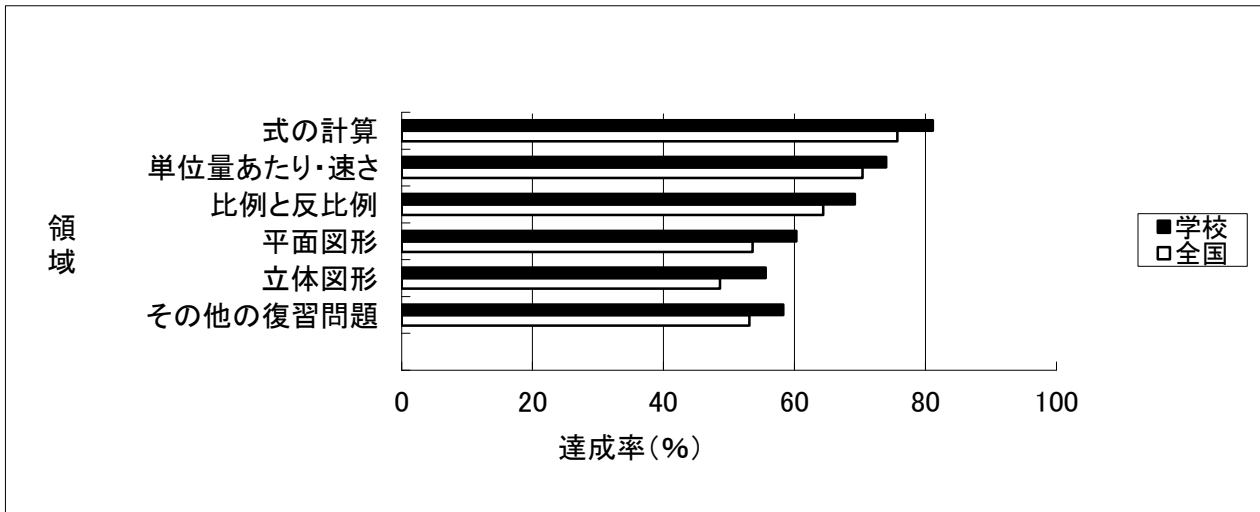
- ・ ほぼ全国平均と同程度の学力であり、5段階評定の分布では、成績下位者が全国平均と比較すると少ない。

<努力を要するところ>

- ・ 5段階評定の分布で、成績上位者が全国平均と比較すると少ない。

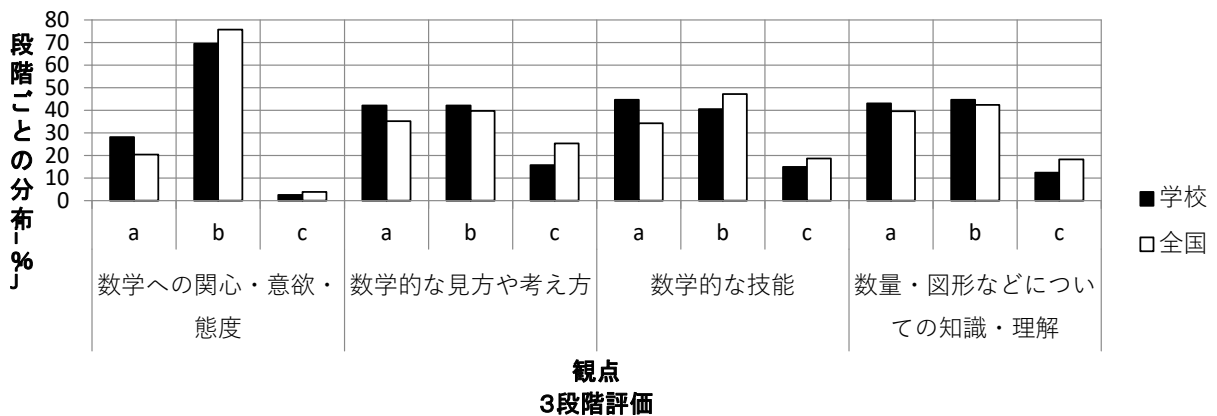
数学科（第一学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



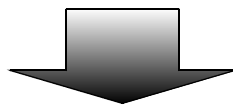
● 内容別分析

数の計算、単位量当たりの大きさ・速さ、比例と反比例、平面図形、立体図形のどの内容においても全国平均達成率と比較すると、全国平均達成率を上回っている。



● 観点別分析

全国の分布と比較すると、Aの割合が高く、Cの割合が低い。



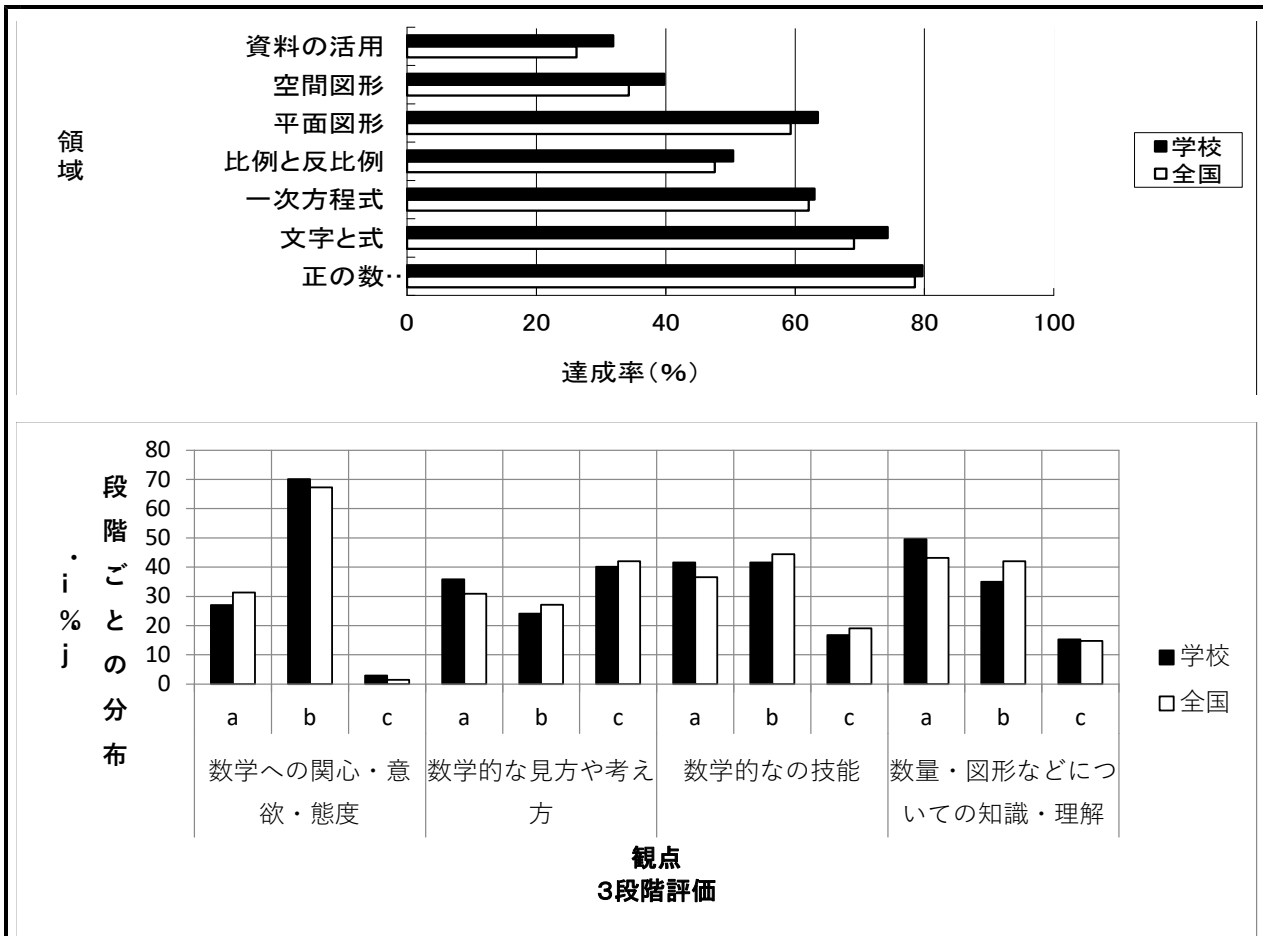
2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

- 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど
- ・ 真面目にやろうとしている生徒は多いが、以下の事柄については努力を要する。
 - ① 基礎的な力がある生徒が多いが、基本的な計算から理解できない生徒もいる。
 - ② 授業中でできたことでも、復習が不十分なため、定着しない。
 - ③ 基礎知識を活かした応用問題への対応力は不十分。

数学科（第二学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 領域別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



● 領域別分析

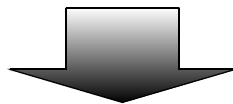
領域別の達成状況は全体的に全国平均を上回っている。

・ 一次方程式

基礎的な計算については理解をしている。しかし、一次方程式の利用については、文章問題への苦手意識が強く、立式ができず、正当率が低い。

● 観点別分析

観点によってバラつきがある。関心・意欲は高いが、見方や考え方はCが高い。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

・ 十分に満足できるところ

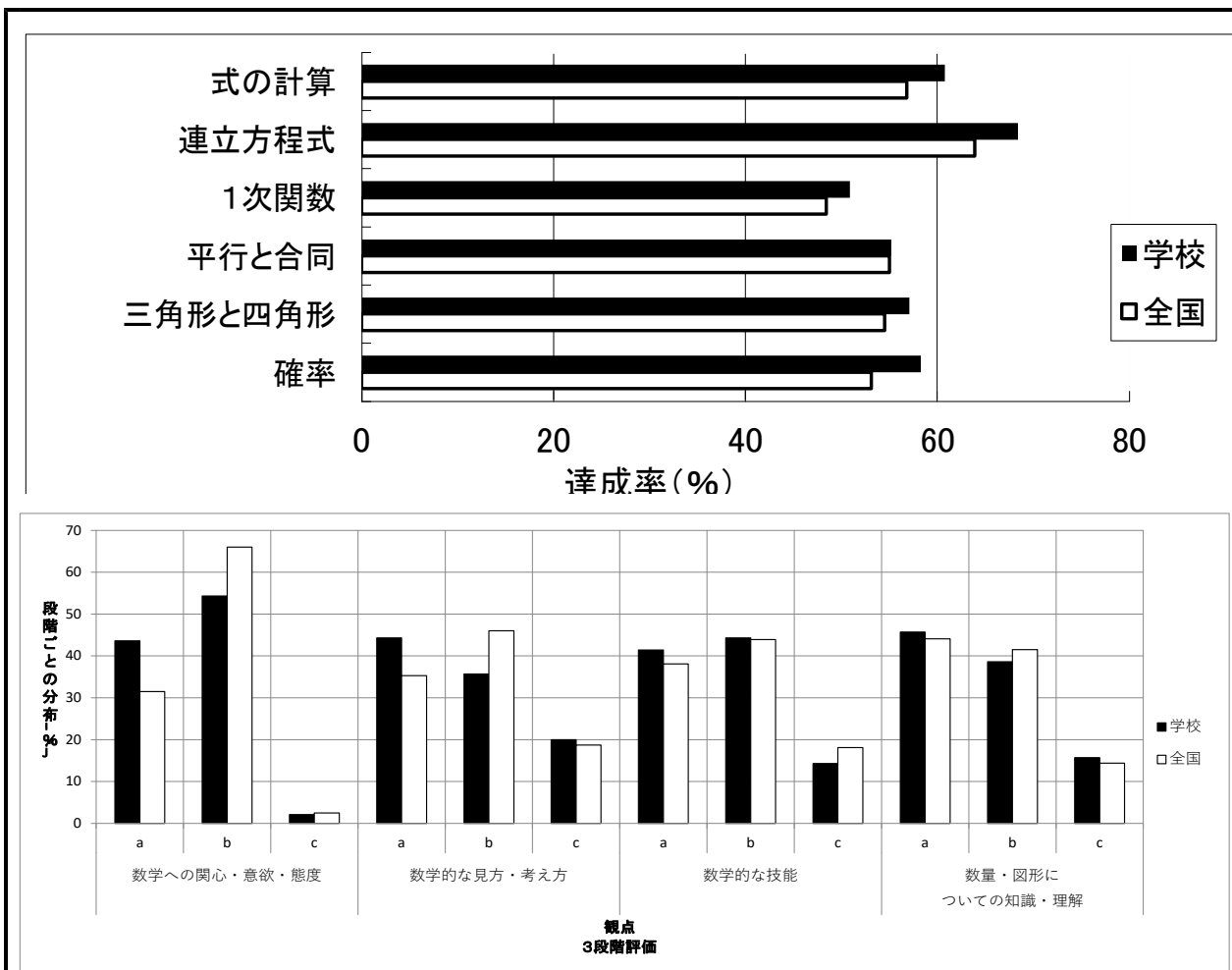
基礎、基本的な計算をすることができる。

・ 努力を要するところ

分数や小数を含んでいる文字式や方程式の計算する力。
文章から情報を読み取り、方程式や等式などを立式する力。
文章を読んで考える数学的な見方・考え方を要する問題。

数学科（第三学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



● 内容別分析

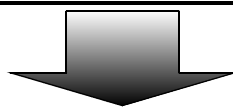
領域別の達成状況は平行と合同の分野を除いて、全国平均を上回っている。

・ 平行と合同

内角や外角、錯角や同位角といったものを長文から読み取り、求めていく計算力が不十分であり、不正解や未回答が多くいるため、正答率が低い。

● 観点別分析

全国の分布と比較すると、全体的に A 評価に偏る傾向が見られていてよい。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）と生徒の実態分析
- ・ 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

<十分に満足できるところ>

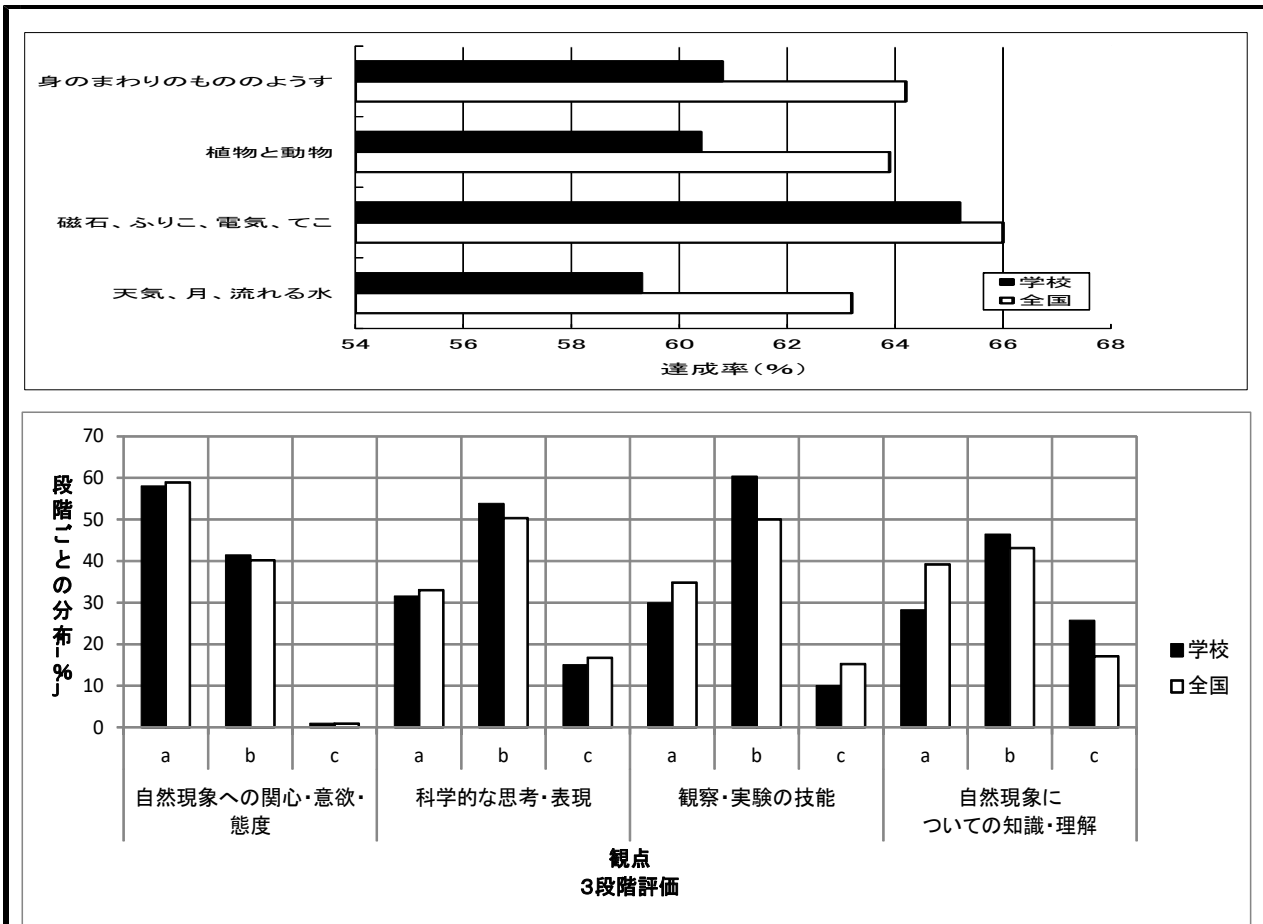
- ・ 式の計算、連立方程式、確率の領域において達成率が高い。
- ・ 基礎的基本的な計算能力は身に付いてきている。

<努力を要するところ>

- ・ 1次関数全般と、関数を伴う図形問題
- ・ 問題文から情報を読み取り、考えて式を組み立てる力

理科（第一学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



● 内容別分析

全ての内容別において、全国平均よりも低かったが、全国と本校との差は4%以内であった。

● 観点別分析

関心・意欲・態度においては全国と本校は同程度である。思考・表現、技能については全国と比べ、本校はBの割合がやや多くなっており、知識・理解では本校のB、Cの割合が全国より高くなっている。



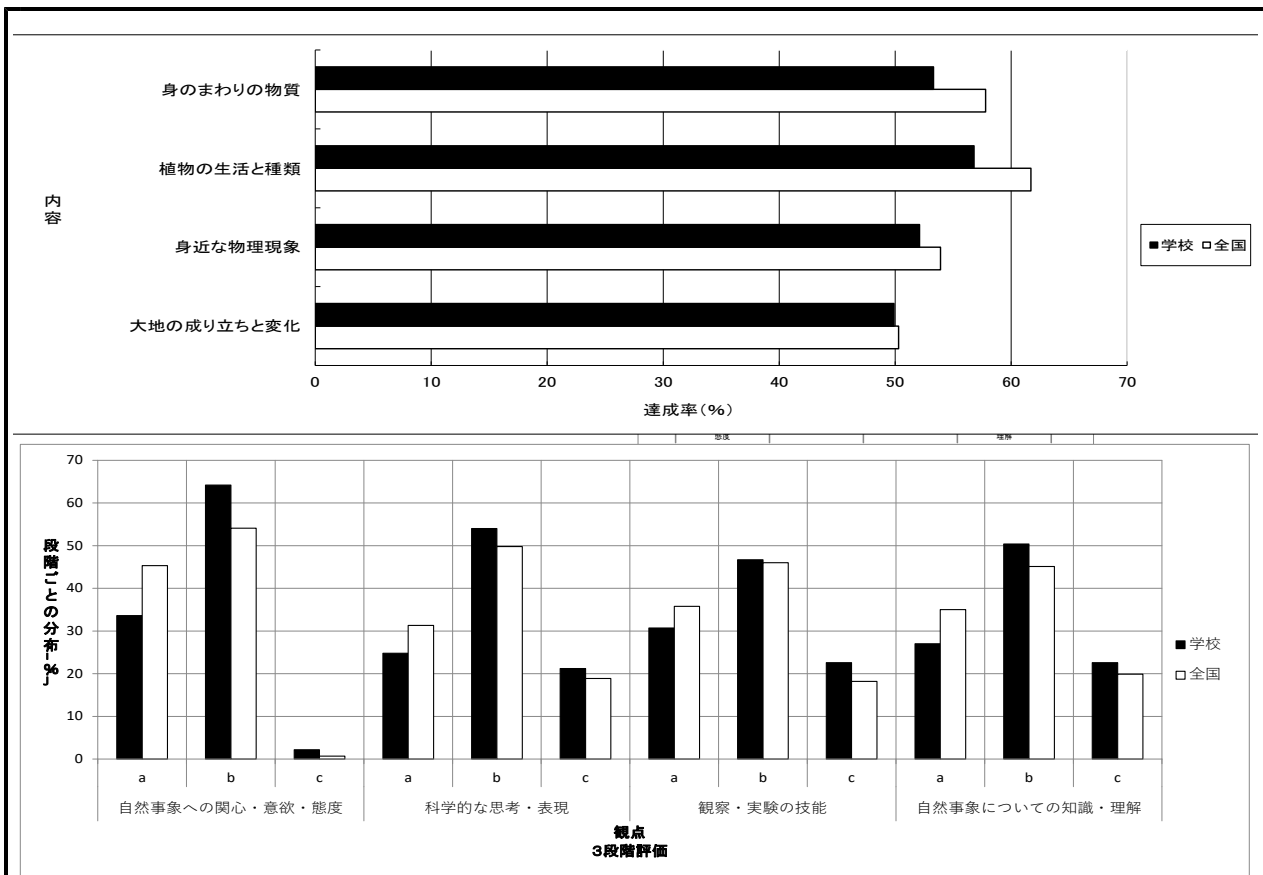
2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ	努力を要するところなど
[十分に満足出来るところ]	
自然現象に対する関心・意欲・態度	
[努力を要するところ]	
自然現象に関する知識・理解	
物理、化学単元における思考・表現、技能	

理 科（第二学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



● 観点別分析

4月に行った調査では、上記の通り全観点でAの割合は全国平均よりも低く全観点においてB及びCの割合は全国平均より高かった。この結果は、昨年度とほぼ同様であり、経時的な変化は示されなかった。

しかし、7月に行った都学力調査では、思考・判断・表現、技能、知識・理解の調査した全観点について都平均よりも高い結果であり良好な傾向が示された。

● 内容別分析

領域別では、4分野すべてで全国平均を下回り、学力の向上が必要であることが示された。



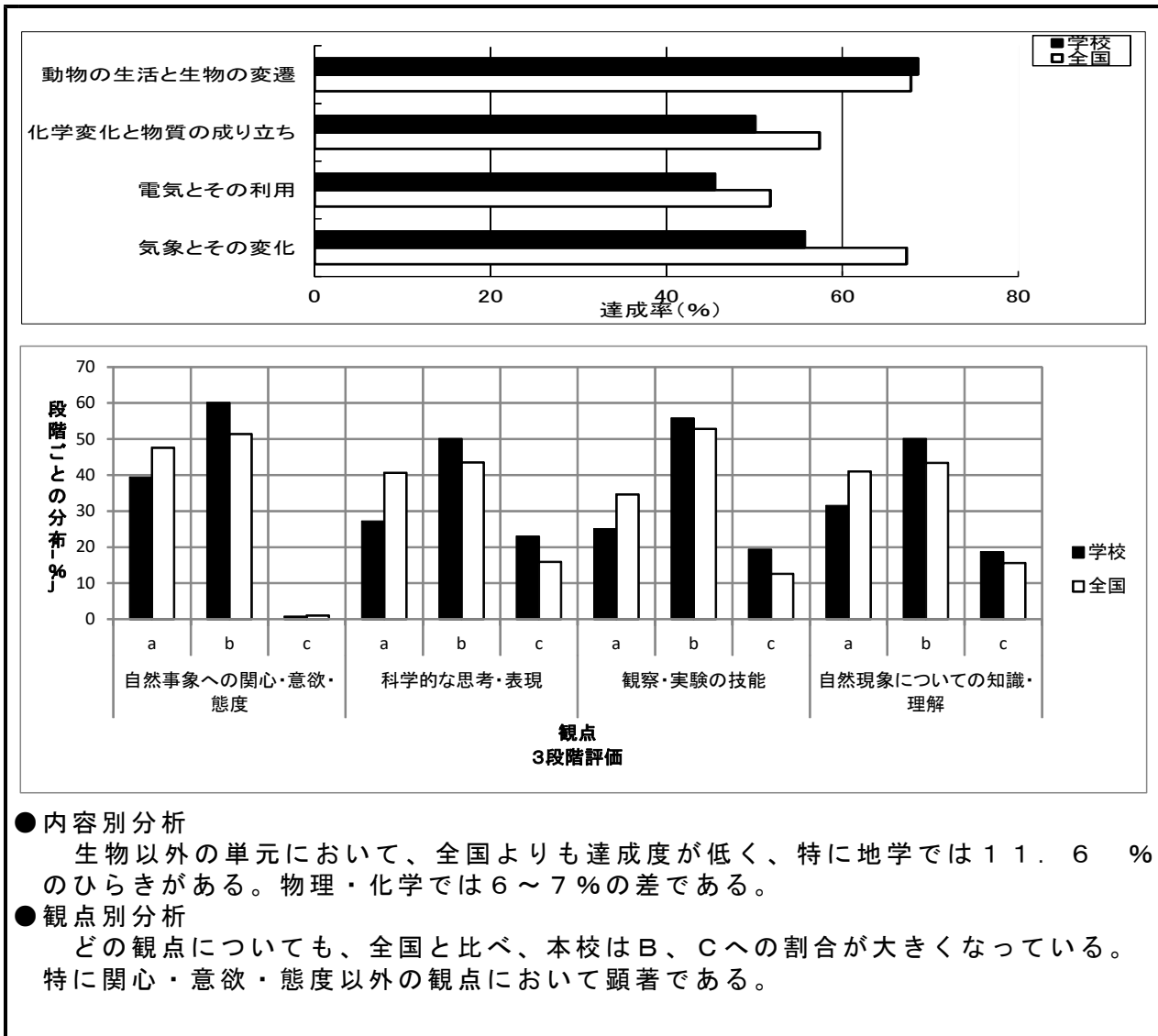
2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

- 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど
- ・ 十分に満足できるところ
 - 授業や実験、観察に取り組む姿勢、提出物の提出状況は概ね良好である。
 - ・ 努力を要するところ
 - 表やグラフをまとめ読み取る力・判断する力。
 - 作図や計算により課題を解決する力。
 - 考えを発表したり、議論したりする力。

理 科（第三学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）

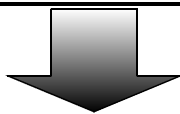


● **内容別分析**

生物以外の単元において、全国よりも達成度が低く、特に地学では11.6%のひらきがある。物理・化学では6～7%の差である。

● **観点別分析**

どの観点についても、全国と比べ、本校はB、Cへの割合が大きくなっている。特に関心・意欲・態度以外の観点において顕著である。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

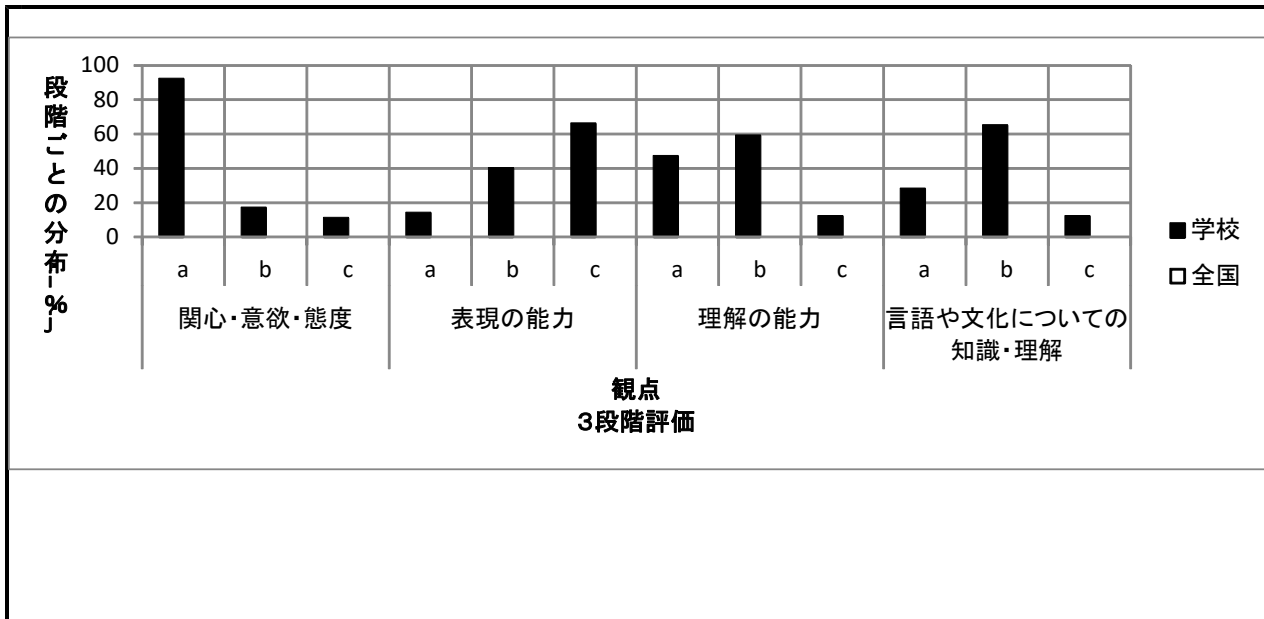
—— 十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど ——

<十分に満足できるところ>
 生物に関する知識・理解

<努力を要するところ>
 化学に関する計算、物理に関する実験技能とその理解
 一般的な理科に関する自然現象に関する知識

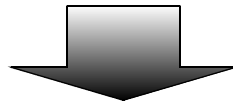
英語科（第一学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



【定期考査の結果からの分析】

- ・ 4 観点において、特に関心・意欲・態度は a の割合が高く、大部分の生徒が英語の学習に前向きに取り組んでいる。
- ・ 「表現」の能力が他に比べて c の割合が高い。積極的に話すことはできているものの、書く力が定着していない。習った英語を知識としてしっかり定着し、それを表現するためには、繰り返しスパイラル的に練習することが求められる。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

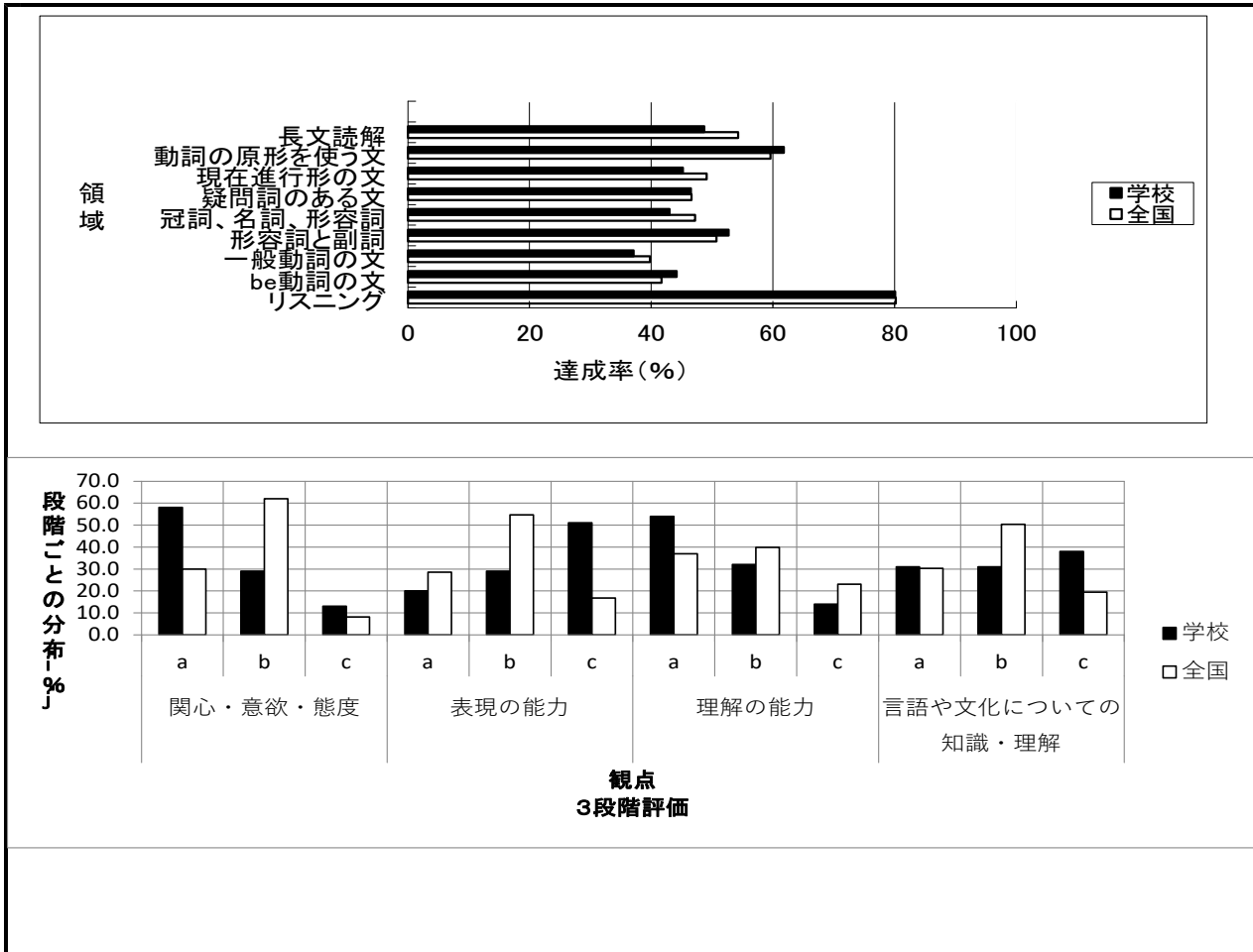
- ・ 定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・ 学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

- ・ ほとんどの生徒が落ち着いて授業に取り組み、学習に対する興味・関心・意欲も高い。しかし、「読む」「書く」ことに苦手意識をもっている生徒が数名みられる。
- ・ 英語で発表することには積極的であるが、正確な英語で表現するには引き続き努力を要する。
- ・ ALT の授業にも積極的に参加し、間違ってもジェスチャー等を使い、一生懸命にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。
- ・ 授業の中では理解できた学習内容も、その後の復習の不足からなかなか身につけていないようである。家庭学習を習慣化し、小テスト等で定着をはかることが必要である。

英語科（第二学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



【内容別】

多くの領域で全国平均を下回っている。

【観点別】

ほとんどの観点において、A 評価の生徒の割合が全国平均を上回っている一方で、表現の観点の A 評価の生徒の割合が全国平均を下回っている。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

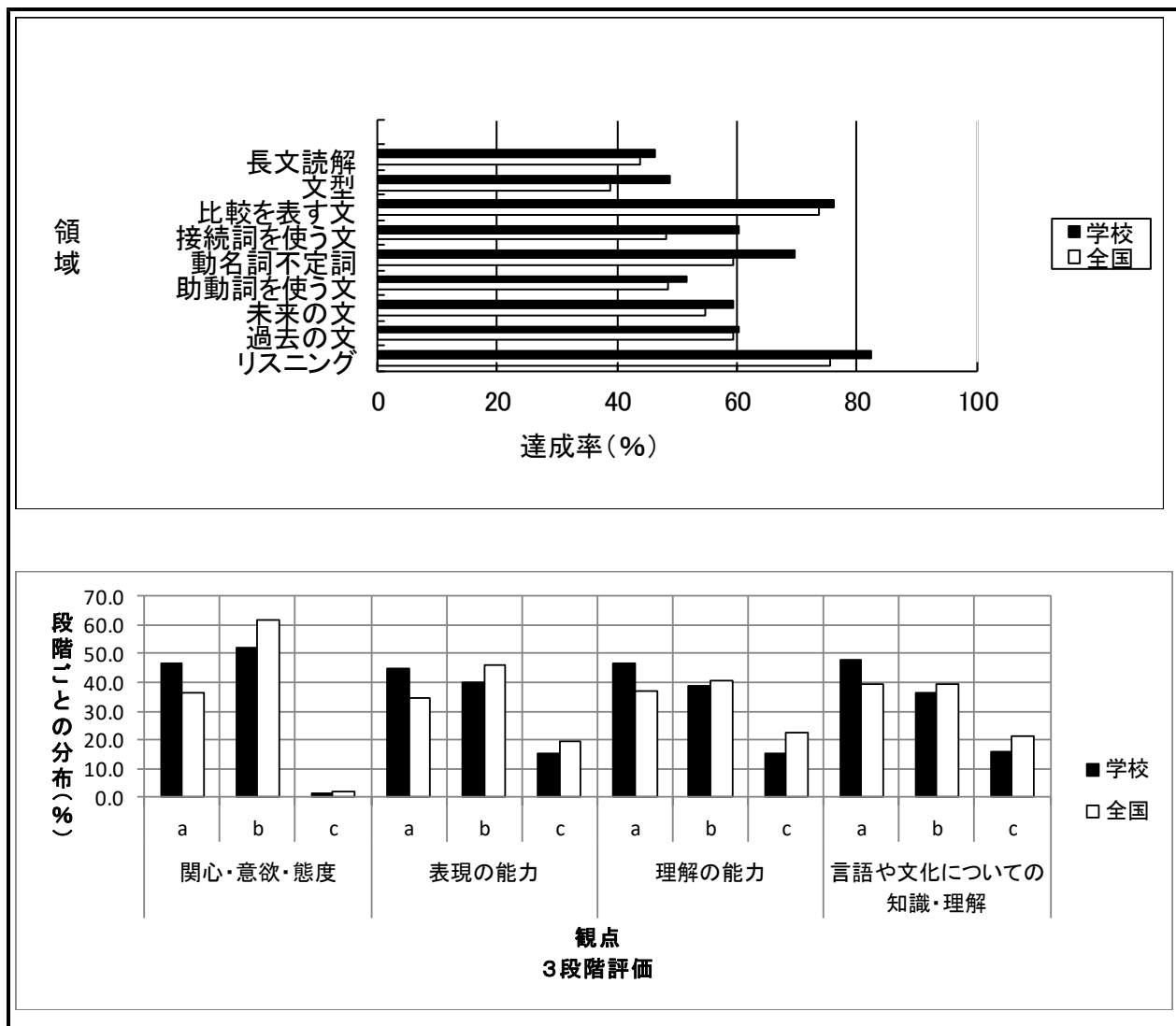
- ・定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ ・ 努力を要するところなど

- ・多くの生徒は、英語の学習に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。1年次には積極的に発言ができなかった生徒も、積極的に発言できるようになってきている。その一方、英語に対する苦手意識を強く持ち、活動に参加できていない生徒も一部に見られる。
- ・学力の向上を図るだけでなく、英語の不得意な生徒や英語に興味がない生徒にとっても魅力的な授業を展開していく必要がある。
- ・知識・理解の c 評価が全国平均を上回っていることから、生徒にとって無理のない範囲でスペリングコンテストなどの小テストを実施していく必要がある。

英語科（第三学年）授業改善推進プラン（様式2）

1. 内容別・観点別の分析表（定期考査・学力調査、学力診断テスト等の分析）



【内容別】どの領域も全国平均を上回っている。

【観点別】どの観点においても、A 評価が全国平均より多い。逆に、C 評価は全国平均より少ない。



2. 学習状況についての実態および内容別・観点別の分析

- ・定期考査等を含む学力調査の結果分析（学習診断テストを含む）
- ・学習状況における生徒の実態分析

十分に満足できるところ、努力を要するところなど

- ・ほとんどの生徒が英語学習に関心をもって熱心に取り組んでいる。
- ・昨年度に引き続き、特に「表現の能力」において達成率が高い。これは、英作文およびスピーチの指導に力を入れ、定期テストでは毎回「三文英作文」出題してきたからだと思われる。今後は、基礎的な知識や学力を定着させるとともに、即興的な表現力も身につけさせるようにしたい。
- ・「理解の能力」においては、リスニングは全国平均よりも6ポイント上回っているが、長文読解は2.5ポイントしか上回っていない。朝学習を利用して、長文読解問題に慣れるようにしていく。